

グラビア	地域を支える人 松田怜子さん・三重県松阪市	1
発掘!地域の希望のタネ	〈一般社団法人 daidai〉長崎県対馬市	5
給食のじかん	〈りんご入り雪花菜サラダ〉長野県宮田村 石川康恵	6
解題	気候変動による水害への備え	8
焦点	プラスチック資源循環促進法の施行と自治体に期待される役割 田崎智宏	10
書評	諸永裕司 著『消された水汚染』 菅原敏夫	16

特集 気候変動による水害への備え

	気象災害の最近の特徴とこれから	竹見哲也	18
	自治体における気候変動適応策の現状と課題 —水災害分野の最近の動向も含めて	馬場健司	27
	流域治水への転換と防災	島谷幸宏	36
	自然を利用した 防災・減災、豊かな地域づくり	中村太士	44
	首都圏における風水害への備えを考える —「令和元年房総半島台風」被害の検証から	佐藤晴邦	53
	豪雨災害からの復興と対策—熊本県人吉市	鎌田竜一	60
各県自治研活動レポート	コロナ禍の中での自治研運動のかたち —香川県本部	久保武士	66
短期連載	東京オリパラ2020と自治体の現場② 被災地から見た復興五輪	小川 宏	68
	自治研センターの機関誌案内		75
	次号予告・編集部から		76

気候変動による水害への備え

「異常」とはいえないほどに頻発する異常気象がもたらす水害。気象災害が引き起こす豪雨や大型化する台風からどう命を守るのか。水害に立ち向かう自治体の現状と役割を考えます。

気象災害の最近の特徴とこれから

産業革命以降の平均気温の上昇を一・五度未満に抑えることが厳しくなる中、激しさを増す気象災害は今後どのようになっていくのでしょうか。(本誌一八頁)

自治体における気候変動適応策の現状と課題

国は気候変動適応法で、自治体に地域気候変動適応計画の策定を努力義務としました。各自治体の適応計画の策定動向と策定に際しての課題を考えます。(本誌一七頁)

流域治水への転換と防災

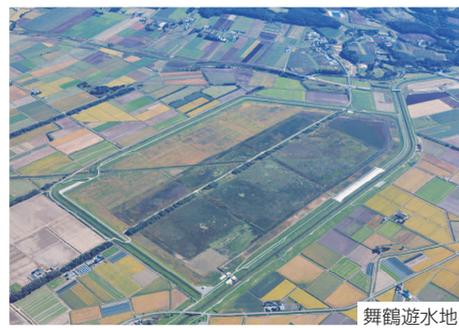
国は「河川治水」から「流域治水」へと政策転換をはかり、二〇二一年に「流域治水関連法」を成立させました。「流域治水」のあり方と自治体に求められる対策とは何でしょうか。(本誌三六頁)

自然を利用した防災・減災、豊かな地域づくり

生態系を活用した防災や減災の取り組み「Eco-DRR」、環境復元や地域づくりにも寄与する取り組みの可能性を展望します。(本誌四四頁)

千葉県 首都圏における風水害への備えを考える

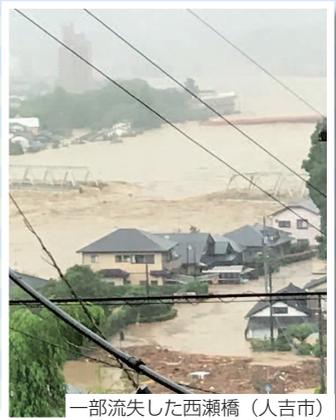
「令和元年房総半島台風」被害の検証から
千葉・東京・神奈川の自治研センターと自治総研が立ち上げた研究会による「房総半島台風」の調査活動から得られた教訓とは何でしょうか。(本誌五三頁)



舞鶴遊水地

熊本県人吉市 豪雨災害からの復興と対策

「令和二年七月豪雨」で大きな被害がもたらされた熊本県人吉市。幾多の課題を乗り越えた復旧・復興へ向けた取り組みの経験から、これからの備えを考えます。(本誌六〇頁)



一部流失した西瀬橋(人吉市)